

事務事業名		佐野市地域女性連絡協議会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	社会教育係	担当課長名	小曾根治夫	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 様々な分野で活躍できる女性の育成					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14337	一般	10	4	1	佐野市地域女性連絡協議会支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	S47年度～ 年度		根拠法令 条例等	社会教育法(第11条) 佐野市補助金等交付規則				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		支援事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市地域女性連絡協議会に補助金を交付している。補助金は、団体の運営費補助としての性格のものである。  * 佐野市地域女性連絡協議会は、社会の福祉と女性の地位を高めることを目的とし設立された団体である。			(市の活動) 佐野市地域女性連絡協議会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)と佐野市地域女性連絡協議会の事務局を行う。  (佐野市地域女性連絡協議会の活動) 地域女性会のつどい、地域女性指導者研修会等の開催。各種研修会、大会等への参加協力。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
補助団体数			団体	1	1	1	1	1		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
(支援対象団体)佐野市地域女性連絡協議会			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
補助対象団体数			団体	1	1	1	1	1		
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
市内の地域女性連絡協議会の円滑な運営と財政の健全化を図る。			事業執行率		%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
男女が共に社会のあらゆる分野で活動している			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			市の行政分野における指導的地位に占める女性の割合		%	—	18.9	18.5	19.0	19.5
			女性リーダー育成のための研修会等参加者数		人	32	39	30	35	35

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	250	250	200	200	200	
	事業費計(A)	千円	250	250	200	200	200	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	250	補助金	250	補助金	200
	人件費	千円	623	631	118	39	39	
トータルコスト(A)+(B)	千円	873	881	318	239	239		
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	160	160	30	10	10		
人件費計(B)	千円	623	631	118	39	39		

事務事業名	佐野市地域女性連絡協議会支援事業	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係
-------	------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和47年ころから
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	男女共同参画社会の実現に向け、女性指導者の重要性はますます高まっている。2011年の東日本大震災以降、地域の繋がりがより求められる一方で、連絡協議会に加入する地区地域女性会の数及び会員数が減少している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市補助金等交付検討委員会より「佐野市交通安全母の会連合会事業費補助金との関連も整理すべきである」という提言がなされている。 平成26年度の団体事業終了後より、事務事業対象者である佐野市地域女性連絡協議会の今後の活動について役員会で議論され、今後はより地域(地区)での活動に力を注ぎたいとの理由から、平成27年度の総会をもって休会となった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持のため対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市地域女性連絡協議会の行う社会福祉と女性の地位を高めるために行う活動を支援することで、政策体系上の男女共同参画活動の支援と推進体制の整備に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	社会教育の振興に資する団体に対して、その活動を支援することは市の責務である。しかし、補助金の交付額及び事務局については、団体の活動内容により、削減及び移管が考えられる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	当該事業は佐野市地域女性連絡協議会に対する事業費補助のため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	団体活動を指導・助言していくことで、成果の向上が見込まれる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	補助金により、会の運営・事業が充実したものとなっているため、廃止・休止した場合は影響が出る。事務局を移管することができれば、最低限の支援を行なうことになるため、人件費は削減できる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	この事業の受益者は、補助金を支出している佐野市地域女性連絡協議会であるが、団体の活動が公益上必要である場合に反対給付なく支出するものが補助金であるため、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	団体が、独自の財源確保など、自立した活動が可能となれば、補助金の休止は考えられる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市補助金等交付検討委員会の提言を受けて、事務局の移管について、検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	○			維持			×	低下		×	×	平成26年度をもって休会となったが、再開する際には、団体と行政の役割分担を明確にし、自立した団体へとなるよう助言していく。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	○																					
維持			×																			
低下		×	×																			